

人の縁 出会いを大切にしよう！

4月は出会いの季節、仁賀保高校のみなさん！よろしくお祈りします。

私は、小さいに公園の園(縁)と書いて「おぞの」といいます。名前は敦煌の「とん」の字を書いて「あつし」と申します。小さな「縁」あってみなさんの支援をすることになりました。アイコンタクトをモットーに頑張ります。

仁賀保生の魂 校歌には哲学がある！

校歌には、仁賀保生のあり方、生き方の指針がある。一番には「世の光なる人たらむ」、二番では「文武の道をいそしまむ」、三番「母校の誉れ継ぎゆかむ」とある。二番に関して、「文武両道」とは、二本足でしっかり立つことである。自分の複数の骨をしっかり磨くことが大切である。「自主自立」とは懐疑精神、批判精神であるが、自主は、他者に対する問いかけ、自立は、自分自身に対する問いかけと捉えることができる。仁賀保高校は、問いを発し続ける場である。

一番と三番の仁賀保生像については、生徒一人ひとりが自分の定義をつくってください。

仁賀保生諸君！文武の道をいそしまむ。部活動等に入っていない生徒は、今からでいい。入部して心と体を鍛え、二刀流を実践することを切に願う。

理解するとは！ GTH(疑問→探究→発見)の定着

「under」「stand」は「理解する」と訳します。目に見える「立っている存在(実態)」は、なぜ現実として在るのか。それはその下に、「存在(実態)を支えている哲学・信念・根本原理」等の理由があるからと考えます。真の「理解」とは、現象や現実をありのまま見た後に、目に見えない部分を「探究」し真実や真理等を「発見」することなのです。

「理解する」というプロセスが、いかに時間と労力を要するものか踏まえた上で、学ぶべき対象の本質を見極める訓練をして行きましょう。

新任式・始業式・入学式で話したことを思い出してください！

校長新任式で、アイコンタクト(i contact)を呼びかけました。入学式でも再びお祈りしました。目と目で通じ合うのみならず、「よく考えて行動する」という意味も含まれています。

始業式では、メモをとる習慣、意識力＝意思＋気力であり、意識力を育成することで、学ぶ力が増幅することを話しました。GTHは「まず疑う、次に探究する、そして発見する」という意味です。仁賀保生が主体的に学ぶ態度を養う時に、役に立ちます。

入学式では「自己有用感」を高めて行こうと呼びかけました。

仁賀保生の皆さんは、この通信を読んで参考にしてください。保護者の皆様も、御一読いただければ幸いです。

元号が代わる節目の年度がスタートしました。鳥海山を背景に、皆さんの笑顔が映える今年度になりますように！

